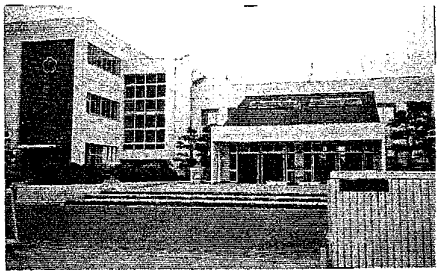
# 郷土を愛し，心豊かで自ら考え進んで活動する児童の育成



## ー地域を生かし，地域とともに「生きる力」を育むー

山口県玖珂町立中央小学校

### 1　はじめに

国際化・情報化・少子高齢化などの社会の急激な変化の中で，「主体的に人や社会とかかわってたくましく生きることができる資質や能力」及び「夢や希望をもち，よさや可能性を発揮しながら，その実現を図ることができる資質や能力」は，生涯にわたってたくましく生きていく力として子供たちに備えさせたい重要なことであり，県の教育の基本目標である「夢と知恵を育む教育の推進」の中心目標である。そして，その実践上の具体目標として，「個性の伸長を図る」・「思いやりの心を涵養する」・「たくましく生き抜く力を育てる」の三点が掲げられ，それらを支える基盤となる目標として「ふるさとを愛する心を育てる」が掲げられている。地域は大切な学習の拠点であり，ふるさとのぬくもりや英知を学ぶ体験活動を通して「生きる力」が育つと考えられる。

本校は，平成９年度より県教育委員会から「地域を生かす教育グレードアップ事業」パイロット校の指定を受け，取り組んでいる。自分が生まれ，生活している郷土を愛し，そこに生きている自分に自信を抱き，社会の変化に力強く対応できる心豊かな児童を育てたいと考えている。

### 2　研究の概要

研究主題を「郷土を愛し，心豊かで自ら考え進んで活動する児童の育成ー地域を生かし，地域とともに『生きる力』を育むー」と設定し，以下の四点について研究を進めてきた。

(1)　地域素材の研究・教材化

教師自身が地域についての知識を深め，学習に活用できる地域の素材を発掘しようと町めぐりをし，史跡や自然・公共施設を見学した。

また，人材バンクカードを作成し，地域の講師の顔写真や住所・電話番号を一枚のカードにまとめ，指導を受けた事項や担当の感想や留意点などを記入し，継続的に活用できるよう工夫した。

(2)　地域素材を生かした総合的な学習の研究・実践

「総合的な学習の時間」について研修を深めた。講師を招いて理論面の研修をしたり，研究授業を通して実践する際の留意点や問題点などについて共通理解が図られた。

地域の環境や歴史・文化等について児童自ら課題をもち，学習を進める「ふるさと」，地域の方々との交流を通して思いやりの心を育もうとする「ふれあい」学習に各学年取り組んだ。

各学年で地域を生かす学習に積極的に取り組んだことで，児童の地域に対する関心や理解が深

まり，問題解決的な学習にも進んで取り組む姿が見られた。

(3) 地域の福祉施設や他の教育機関との交流

・ 特別養護老人ホーム「玖珂苑」との交流運動会や介護体験

・ つつじ会（童謡を歌う高齢者の会）との「童謡を歌う会」

・ 中央小まつりへの招待……町内四保育園・福祉作業所「ささみ園」・老人クラブ

・ 社会福祉協議会を通しての身体の不自由な方々とのふれあい

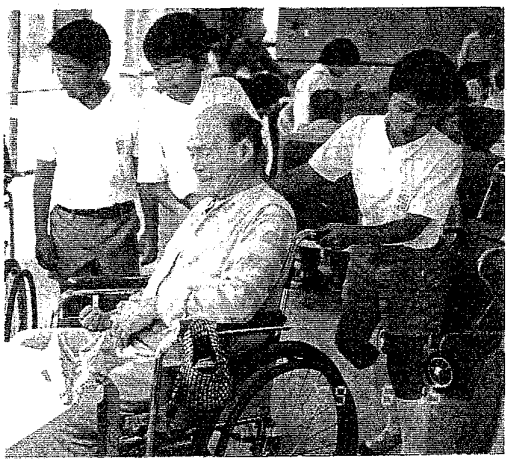
・ 「玖珂の教育を考える会」を発足させ，玖珂小学校や玖珂中学校との交流を盛んにした。この会は，小・中学校９年間のスパンで子供たちを見守り，教育していこうという趣旨で創られたネットワークである。

６月には，三校交流クリーン作戦を行い，三校の児童生徒が一斉に町内各所の清掃をした。また，中学校の文化祭や両小学校のまつりに招待し合うなど児童や生徒の声を尊重した交流も行っている。一方，教職員は交歓会・生徒指導部の情報交換会や参観日の授業公開などを行っている。

(4) 児童会やＰＴＡによる地域活動

児童会活動では，１年生を迎える会を町内ウォークラリーにするなど，児童の方から自分たちの町をもっと知ろうという意見が出るようになった。

また，ＰＴＡの研修部が中心になり「ふるさとマップ」を作った。町内の史跡や公共施設などを写真と解説文で綴ったものである。



老人ホームの訪問

郷土料理教室

# 地域を生かす教育グレードアップ 全体構想図

玖珂町立中央小学校

学習指導要領
山口県教育ビジョン
3つの力・3つの心

**本校の教育目標**
夢や希望をもち，心豊かでたくましく生きる児童の育成を図る

児童の実態
地域・家庭の実態

**めざす児童像**
1 考える子 …筋道を立てて考え，自ら学びとる子
2 やさしい子…やさしい心をもち，思いやりのある子
3 強い子 …心身ともに健康で，頑張りぬく子
4 働く子 …働くことを喜び，進んで奉仕する子

**［研究主題］**
**郷土を愛し，心豊かで自ら考え進んで活動する児童の育成**
～地域を生かし，地域とともに「生きる力」を育む～

［創造する学校の姿］
郷土の特性や子供のよさを生かす学校

| | 1・2年生 しぜん | 3・4年生 くらし | 5・6年生 れきし・ぶんか |
|---|---|---|---|
| ふるさと | 地域の自然に触れ，五感を働かせて感じることにより，地域の自然に親しみ，よさを知ることができるようにする | 地域の生産活動の特色や地域の発展に尽した先人の働きについて調べることにより，郷土を愛する心を育てる。 | 地域の歴史や文化を体験的な学習を通して調べることにより，郷土のよさに気付き，郷土を愛する心を育てる。 |
| ふれあい | 高齢者の人々と楽しく活動することを通して，心の交流を図る。 | 高齢者や障害者の人々との交流を通して，まわりの人々に対する思いやりの心を育てる。 | 高齢者や障害者の人々の思いや願いを理解する活動や交流を通して，まわりの人々に優しく接しようとする態度を育てる。 |

【感動体験学習】

【地域の教育力】
自然・文化・人材

【問題解決的な学習】

**域素材の研究・教材**
員の町巡り
親子で玩珂の町を知う」
オバンクカード作成
域を生かした学習のマニュアル作成

**総合的な学習の研究**
・研究授業
・各学年の授業実践
・理論的な研究
・年間指導計画作成

**福祉施設や他の教育機関との交流**
・玩珂苑
・ゲートボール協会
・さざみ園
・つつじ会
・玩珂町の教育を考える会（玩琉中学校・玩琉小学校）
・玩珂幼稚園・玩珂保育園
・中央幼稚園
・ルンビニ保育園
・社会福祉協議会・商工会等

**児童会やPTAによる活動**

| | |
|---|---|
| 児童会 | ・1年生を迎える会（町内ウォークラリー）<br>・三校クリーン活動<br>・中央小まつり |
| PTA | ・教育講演会<br>・ふるさとマップ作成<br>・広報「ふれあい」作成 |

## 3　研究の成果

(1)　地域を生かした総合的な学習に発展させるために

教師自身が地域に目を向けることにより，今まで気付かなかった地域の様子が目に見えはじめた。また，学習を進めていく過程で新たな教材や人材を発掘することができ，今後の地域を生かした総合的な学習に取り組む上での大きな収穫となった。

先進校の視察や研究授業・講師を招いての研修も，「総合的な学習の時間」の意義や活動の展開方法について認識を深めることができた。

(2)　保護者や地域への啓発

各学年「親子で玖珂の町を知ろう」という活動をしたことは，保護者に地域学習の意義や地域の様子を知ってもらう上で効果的であった。取組の様子を学校だよりをはじめ，学年・学級だよりで随時知らせたことで，理解を得ることができた。

また，福祉体験学習への参観も呼び掛け，高齢者や身体の不自由な方々との「ふれあい」活動などへの保護者の参加も見られるようになった。

(3)　環境の整備

地域学習を実施するに当たって，動的・人的な環境の整備を行ってきた。動的環境についていえば，空き教室を利用した「ふるさと学習室」を設置したり，障害のある方々の来校のためにスロープを付けたりした。人的な環境では「人材バンク」を作り，学習を支援する地域の講師を確保したことが挙げられる。

## 4　今後の課題

三年間で発掘した地域の素材や地域学習を進めていく上でのノーハウをこれからの「総合的な学習の時間」に有効的に活用していくことが，重要になってくる。

そして，これまでの実践をペースに児童とともに話題作りをしていき，児童たちが自分で課題を追究する力をもつよう支援していく必要がある。また，必要となる備品や消耗品購入の経費・人材活用の際の報償費や災害時の保障問題など解決すべき課題がある。